



第 21 号  
2021. 11. 10

# シニアの学び舎

レイカディア大学だより 米原校

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

## 第43期生 入学式挙行！



学科名	米原校			米原校計	草津校計	総合計 (名)
	園芸	北近江 文化	健康 づくり			
男	16	15	4	35	94	129
女	10	4	12	26	55	81
入学者数	26	19	16	61	149	210

令和3年10月5日、レイカディア大学草津校舎で第43期生210名の入学式が2年ぶりに挙行されました。

入学許可証授与の後、渡邊学長から「今や人生100年時代を迎え、楽しく豊かに生きるアクティブシニアとして、豊かな地域づくりの一翼を担うことを期待されている。そして、ひたすらなるつながりが実感できる社会の実現に向け、地域で活躍する実践者となるため学びを深められることを期待します。」と祝辞が述べられました。ご来賓の滋賀県知事、県議会議員、同窓会長からもご祝詞をいただき、在校生歓迎の辞、新入生宣誓と厳粛に進みました。  
(写真：座席の間隔をとり、最後列まで新入生が埋めています。)

### レイカディア大学米原校 サポートの会 第9期代表 寺嶋作雄

43期新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。こうして皆さんをお迎えできたことを大変うれしく思います。

今年は、コロナ禍で従前の対面での活動が困難になり、県立文化産業交流会館やビバシティ平和堂様等、数か所で大学紹介と学生募集の展示会を開催いたしました。学校説明会後の懇談会で卒業生の体験談もお話させていただきましたが、これから始まる学生生活に胸を躍らせ期待されている反面、慣れない環境に戸惑いや不安なお気持ちもお持ちかと思えます。

サポートの会は今期「在学ををささえ、交流行事でつながり、共にたのしむ」をテーマとして活動しています。在学生の学習講座のお手伝いや校外学習での授業支援等、また、学年・学科を超え卒業生をも含めた交流行事で少しでも皆様のお役に立ちたいと思っています。

年齢・経歴・生活や活動地域の違う仲間たちと出会い、切磋琢磨し、有意義で充実した大学生生活を過ごされることを祈念いたします。



## 43 期生に聞く



米原校 43 期生（園芸・北近江文化・健康づくり学科）

### ○園芸学科 西 恭一さん

家で畑をやっており園芸を体系的に学びたいと思っていたところ、町内の先輩がレイ大は楽しい学校と言っていたのを思い出して入学した。

1日目の授業の感動を2年間続け、人生の締めくくりになるようなことをしたいと思う。学科長として26名の仲間といいものを作り残したい。



### ○園芸学科 西堀 幸さん（リカレントコース）

主人も同じ43期園芸学科で一緒に畑をしたいと入学。父や母が当時の老人大学卒業生でその縁で私も生活科学学科に入学、卒業し、今は園芸学科のリカレント。レイ大では、種からの育て方や無農薬農業などのことも知りたい。43期は女性も多く女性の副学科長として学科長のサポートができればと思っています。

### ○北近江文化学科

#### 吉田 勳（いさお）さん・末森一美さん

お二人ともレイカディア大学を知ったのは地域のコミュニティセンターにあった学生募集案内のパンフレットで、この内容にすごく興味を持たれたそうです。

吉田学科長の入学の動機は、以前から歴史に興味を持ち学んできたこともあり、北近江の歴史や文化をより深く学びたいと思ったからで、副学科長の末森さんは、コロナ禍や年を経るに従い仲間とも触れ合う機会が減ってくることから、ご夫婦と一緒に学び元気で暮らせるようにとの思いから入学を決められました。

「学びへの欲求」を強く持たれ、新しい仲間とともに「元気に明るく過ごしたい」と語られるお二人の話に、取材した私自身が感動と熱意をいただきました。

### ○健康づくり学科 樋水昭宏さん

現在音楽療法に携わっているが施設入所者にはない、レイ大の先輩の生き活きしている元気の源泉は何かを学びたくて入学した。今までにない多くの人との交流を通じ、皆さんの前向きな姿勢に学びたい。情報委員も兼ねて学科長として、皆がやって良かったと思える2年間にしたい。



## 42期生学生生活の一コマ

### ○園芸学科 佐藤 弘さん

散歩中、周りの樹木が気になり、植木の剪定・盆栽・花等を観察するようになりました。レイ大で基本を学んでいるからだと思います。

講義は、選択と必修があります。必修での講義例として、シニアを対象とした介護・認知症等があり大変参考になりました。質問をしても経験豊富な講師が丁寧に教えてくれます。

選択講座の園芸関連では、今年から初めて米原校に農園が借りられました。早速、トマト・ナス・ピーマン等を栽培し収穫しました。

課外授業では、びわこ地球市民の森で、初めて木の伐採・シイタケの種駒打ちをし、楽しい一日でした。どれもこれも貴重な経験をしました。



### ○健康づくり学科 川上幹夫さん

42期健康づくり学科では、「健康寿命85まで笑顔で若々しく」をスローガンにし、課題学習の一過程で愛知酒造（富鶴）の女将さんの指導で酒粕漬けを教えてくださいました。発酵食品を体内に摂取し、より元気にと考え酒粕漬けに挑戦しました。

芳醇な酒粕の匂いに酔い、ザラメと合わせて、塩漬けたキュウリや生姜を漬けました。ザラメの量や漬け込む時間により味の変化を楽しめ、自分好みの味になります。待ちきれずに既に食したメンバーもいますが、長く漬ければより豊かな香りがします。

また、余呉湖一周ノルディックウォーキングや土山鮎川の千本桜、彦根城周辺の新緑ウォークなど、みんなで楽しく体づくり励んでいます。





## ●募集活動にご尽力頂いた皆様へ感謝

昨年はコロナ禍で学生募集が中止となり、2年ぶりの募集となりました。

前回 42 期生の学生募集では北近江文化学科の応募者が少なく学科の開講ができませんでした。

今回の 43 期生の学生募集についてもコロナ禍で「応募者が少ないのでは」と危機感の中での学生募集活動でした。

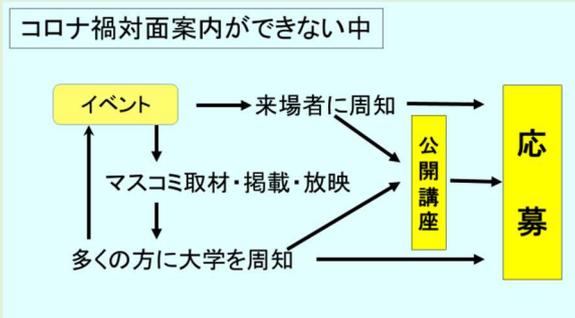
サポートの会も学校事務局、同窓会、在学生と共に会員の皆さんが一丸となって学生募集活動に取り組んだ結果、園芸学科・北近江文化学科・健康づくり学科どれも募集定員に迫る応募があり安堵いたしました。これも募集活動にご尽力いただいた多くの皆様のお陰と感謝申し上げます。

## ●学生募集活動のポイント

学生募集活動のポイントとなったのは、レイカディア大学の存在と学生を募集していることを多くの皆さんに知っていただくことでした。

## ●コロナ禍での学生募集活動

しかしながら今回の学生募集活動では、コロナ禍の為、例年実施している直接対面でのご案内ができませんでした。



## ① ショッピングセンター等での大学紹介・学生募集ポスター掲示、学生募集要項などのコーナー設置



アルプラザ八日市会場  
学校紹介、講座案内、授業風景、卒業生活動風景掲示

その結果、イベントに多くの方が来場されレイカディア大学を知っていただくことができました。

特にビバシティ平和堂で開催した同窓会湖東支



ビバシティ平和堂会場  
同窓会湖東支部作品展共催

部作品展との共催では、6日間の開催期間中 2,073 人の方に来場していただき、レイカディア大学の魅力を知ってもらった絶好の機会になりました。

## ② マスコミの取材

また、各イベント期間中、京都新聞・中日新聞・滋賀報知新聞、ZTV・東近江スマイルネットなど多くのマスコミから取材をいただきました。そのイベント・学生募集記事の掲載や放映を通じて広くレイカディア大学の存在と魅力を多くの方に知っていただけただけでも多数の応募につながった要因と考えています。



アピア八日市店会場  
中日新聞掲載記事

## ③ 公開講座で前回開講できなかった北近江文化学科説明会、卒業生が紹介

今年の公開講座では、北近江文化学科が開講されていなかった為に授業の見学ができない状況に。そこで 39 期卒業生の福永保氏に授業内容や学生生活の魅力を聴講に来られた皆さんに説明していただきました。

お陰様で北近江文化学科の例年にない応募者増につながったと思います。



北近江文化学科説明会  
39 期卒業生福永保氏講演

## ④ 公開講座聴講後の座談会開催

また、本年は聴講された皆さんと卒業生との座談会が公開講座後に企画されました。

卒業生と話を交わす中で、聴講に来られた皆さんの学生生活への不安を期待に替えることができた事も多くの応募につながったと思います。



北近江文化学科説明会後の  
座談会風景

## 《さらなるレイカディア大学の魅力の紹介を!!》

学生募集活動を通じてレイカディア大学の知名度はまだまだ低いことがよくわかりました。今後も、レイカディア大学の存在と魅力を知っていただく活動を続けることが大切だと強く感じました。

## サポートの会の活動予定など

### 地域活動部会

#### ◆地域活動調査

第39・40・41期卒業生を対象に、本年9月末までの1年間の地域活動状況を調査アンケート。集計速報は11月の発表会で、詳細は次号で公表。ご協力ありがとうございました。

#### ◆愛知川河畔林の愛林活動 12月13日

竹林の枯れ竹等の伐採作業とミニ門松づくり

### 園芸学科部会

#### ◆校外学習（甲良養護学校剪定実習）8月27日

コロナ禍で昨年剪定ができていないので、39期6名・40期10名・41期11名に加え地域活動PJから4名の参加で、合計31名で、在学生のサポートを行いました。



#### ◆校外学習（八幡小学校剪定実習）11月26日

正門および校庭周辺の樹木剪定。在學生が中心になり、サポートの会はお手伝いとなります。

#### ◆校外学習（雨森芳洲庭園整備）12月3日

### 北近江文化学科部会

### 健康づくり学科部会

#### ◆健康・史跡ウォーク

10月29日

日本遺産に指定されている東近江市伊庭地区の史跡探訪と内湖を廻るサイクリングロードを歩きます。

（両学科部会の共催）



### 健康づくり学科部会

#### ◆健康グラウンドゴルフ

11月30日

初心者も参加できる企画です。

#### ◆健康レクリエーション交流会 12月7日

地域サロンなどでも手軽にできる手作りゲームなどを紹介します。

レイカディア大学だより米原校 2021年11月10日第21号

発行：滋賀県レイカディア大学（☎ 0749-52-5110）  
米原校サポートの会（広報・情報室）

■ 米原市下多良 2-137  
（県立文化産業交流会館内）

■ 米原校サポートの会ホームページ：  
<http://lacamaibara.com/support/index.html>



## 2021 発表会 米原校 （従来の大学祭に代わるものです）

11月17日（水）13時～15時  
11月18日（木）10時～14時  
文化産業交流会館イベントホール

コロナ感染予防対策として、在學生、學生の家族、卒業生。講師に限定しての発表会となります。

テーマ  
ともに学ばん  
ともに遊ばん  
ともに生きなん

#### ◆展示発表

在學生の園芸作品、学習成果のパネル展示発表卒業生各期の学科、サポートの会各部会・プロジェクト、同窓会、クラブなどの活動内容パネル展示、園芸栽培物、道具、竹鉢物、紙芝居、近江国街道双六・近江国街道カルタ、平たねなし柿、學生募集大凧などの展示

#### ◆ステージ演芸

よし笛の演奏、銭太鼓の演舞、紙芝居、どじょうすくい踊りなど

### 米原校事務局 職員紹介

學生の皆さんに安心して受講いただけるよう、日々サポートさせていただきます。お気軽にお声がけください。

主に選択講座の運営を担当しています。よろしくお願いいたします。

宇野智絵



必修講座の運営を担当し、コロナ対策としてオンライン受講の設定も行っています。よろしくお願いいたします。

北村龍哉



#### 《編集後記》

この第21号は43期生を新たに迎えて最初の発行です。再始動した大学のアピールとサポートの会の活動内容を紹介しました。9月中は緊急事態宣言下の厳しい環境で編集会議はZoomのオンライン会議。取材はお互いにマスクを通しての声で短時間。聞き手の不慣れと文章力の不備から記事に消化不良があると思いますが、お許し願いたいと思います。コロナ収束を願いつつ。